



梅雨どきから夏にかけて、夏カゼ(ヘルパンギーナ)、手足口病、咽頭結膜熱(プール熱)などが、発生しやすくなります。生活リズムを崩さないように充分休養を取り、バランスのよい食事を摂って体力をつけて予防しましょう。

5月は、朝夕の寒暖の差が激しい日が多くありましたが、病欠するお子さんは少なく、元気に過ごせました。

保健行事

歯科検診 6月3日(火)午前9:30より 全クラス対象

カラーテスター(歯の汚れている部分を染める) 4才児=6/17(火)・5才児=6/10(火)

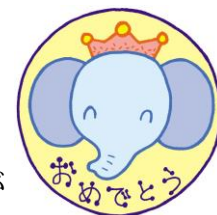
0才児健診 6月10日(火) 24日(火) 午後2時30分～ 嘱託医の吉崎先生による内科的健診です。地域の方もぜひお子さんと一緒にお越し下さい。身長・体重測定もしています。

視力検査 4才児=6/19(木)・5才児=6/12(木)(3才児は、後期から対象となります!)

歯の表彰について

保育園における歯科検診の目的は、早期発見、早期治療です。園においては、子どもの心身の健康を守ることと、幼児(4才児)からは、自分で守ろうと思う意識をもってもらうために下記の『歯の表彰』を行っています。

- ♥ 表彰状『むしばがなかったでしょう』…虫歯がなかった子
- ♥ 表彰状『むしばをなおしたでしょう』…検診の結果、虫歯の疑いまたは、虫歯がある場合に歯科通院して、その結果を園に提出した子



- ♥ カード(認定証)…カラーテスター後、磨き方の形式変更に伴い、これまでのメダルを中止して、認定証を全員に発行します。

※いずれも4・5才児対象です。3才児に関しては、前期は、歯みがきのスタート期のため後期になってから表彰状の対象となります。

なぜ虫歯になりやすいのか? ♥ はえ始めは、歯が固くなくやわらかい



- ♥ 溝が多いため、食べカスがたまりやすい

- ♥ はえ始めは、歯が短いので歯ブラシが届き難い等が原因となります。乳歯が完全にはえるまで、1年近くもかかりますので、注意したいですね。



虫歯予防のポイントは

- ♣ 歯の汚れをとる⇒歯みがきは、子どもまかせにしないで大人目で確かめて、みがき残しをきれいにみがいてあげましょう。
- ♣ 食べ物の種類と⇒食事は軟らかい物ばかりでなく、歯ごたえのある物を取り入れましょう。食べ方に注意 おやつは、時間と量を決めてダラダラ食べるのはやめましょう。

園における紫外線対策、熱中症予防対策、及び、夏場の過ごし方について

子どもは細胞分裂が激しく、成長が盛んな時期であり、大人よりも環境に対して敏感であったり、室外で過ごす時間が多いため、太陽光を浴びる機会が多く、子どもの紫外線対策の必要性があると考えています。当園では、新園舎になってから新しい方法を探りつつ、紫外線対策に取り組み始め、夏場は、園庭にテントを張ったり、窓に黒い遮光カーテンをとりつけたりなどの工夫をし、“太陽と仲良く上手に付き合う”ための環境作りを積極的に行なっています。

- ・園庭あそび・園外保育の際は、フラップ付きカラー帽子(0才児は、各個人持ちの帽子を着用しています)を必ず着用しています。
- ・園庭あそびは、午前中の早い時間帯、及び、夕方の日が陰ってきた時間帯に行っています。
- ・夏場は、気温だけでなく日差しにも注意して、園庭遊びやお散歩をするかを決めたりと直射日光を長時間浴びないように配慮しています。
- ・園庭に氷を入れた冷水ジャグを設置し、いつでも水分補給できるようにしています。
- ・プールや水あそびの時は、希望があれば、水着の上からTシャツや長袖シャツ、ラッシュガード等を着用することを個別に受け入れています。お気軽に、ご相談下さい。
- ・前年度、園庭をおおう日よけタープと、ベランダ全面にオーニングを取り付け、日陰を作りました。
- ・家庭から、日焼け止めクリームを塗ってきて頂いても結構です。保育園では、日焼け止めクリームをお預かりしていますが、肌が弱く、医師の診断を受けたお子さんのみとしていますので、ご了承下さい。(依頼書の提出が必要となります。)



※虫よけスプレーについて

暑い日が多くなり、蚊も出てくる季節になりました。園での虫除け対策として、他の保育園においても乳幼児に使用して虫よけに効果があるとの事例が多く出され、自然のもので安心のハッカ水(精製水+日本薬局方ハッカ油)を使用しています。皮膚の敏感なお子さんに対しては、使用を控えたり、体調や皮膚の状態により足の方から使用するなど配慮いたします。

- ♥ 上記の対応から、ご家庭からスプレー等お持ち頂く必要がありませんのでご了承下さい。
 - ♥ 0才児は、長袖・長ズボン等の衣服による対応を行い、ハッカ水は使用しません。
 - ♥ 園は、集団生活であり、子どもたちの安全のために、園での使用につき、以下の点で控えて頂きたいお願い致します。登降園時に使用されるのは、構いませんが、園での使用は、控えさせていただきます。
- ・虫除けブレスレット(本人が物に引っかけたり、他児が引っかかったりする事もあり危険)
 - ・虫除けシート(子どもの手の届く通常のごみ箱に捨てられず、子どもの手に触れない、特別のごみ処理を必要とするため)
 - ・虫除けシール(汗や着脱により、シールが落ちて子どもが口に入れる危険性が考えられる)
- ※ 体質により、地腫れしやすいお子さんは、ご相談下さい。
- ※ 虫除け対策として、園内でハーブ(ミント、バジル、ローズマリーなど)やゼラニウムやマリーゴールドの花を育てています。